



# 校長のつぶやき

福井市長橋小学校

R 3 . 6 . 1 6

「質問です。校長！各都道府県の『認知件数』にあれだけ大きな差があるのはなぜ？」

第2号で、児童生徒1,000人当たりの認知件数が多い都道府県と少ない都道府県を示しましたが、保護者の皆様はどのようにお考えになりましたか。

☆こんなふうには考えませんでしたか？☆

調査は正確なんだろうか？ なぜ○県と□県でこんなに差があるのか？ ◇県はいじめの認知件数を減らして報告しているのではないか？ こんなに認知件数が多い△県は、荒れている学校が多いのではないか？ 認知件数が多い県は、各学校でいじめ防止対策をしていないのではないか？ など

まず、以下の通知の内容にお目通しください。これは、平成27年12月22日付け文部科学省児童生徒課長からの通知内容です。

余談ですが、この通知を發出した課長は、なんと福井市出身の方です。

## 【通知より抜粋】

いじめを認知していない学校…にあつては、真にいじめを根絶できている場合も存在するであろうが、解消に向けた対策が何らとられることなく放置されたいじめが多数潜在する場合もあると懸念している。特に、…いじめの認知件数が零であった学校においては、当該事実を児童生徒や保護者向けに公表し、検証を仰ぐことで、認知漏れがないかを確認すること。

かなり厳しい内容の通知であると感じとることができます。文部科学省は、いじめの認知件数が多い学校について、教職員の目が行き届いている証拠であると考えているようです。反対に、いじめの認知がなかったり、いじめの認知件数が極めて少なかったりする学校は、いじめを見逃していないかと心配しているようです。

私は、都道府県のいじめの認知件数に大きな差があることに対しては、『どのようにもでも解釈でき、「絶対」という答え（解釈）はあり得ない』と考えます。いずれにしても、良いようにも悪いようにも解釈できてしまいます。例えば、以下のとおりです。

多い

- ①教職員のいじめ認知に対する感度が高く、見逃すことはない
- ②いじめが多発するような荒れた学校
- ③十分な見極めをせず、何でもかんでもいじめとカウントしている 等

少ない

- ①教職員のいじめ認知に対する感度が低く、見逃がしている
- ②いじめが起こらない、起こりにくい素晴らしい学校
- ③「こんなことくらい」と楽観視し、いじめとカウントしない 等

いじめは、絶対に許されない行為です。しかし、いじめは、成長過程にある子どもが、集団で学校生活を送る上で、悲しいかな発生してしまうことがあります。そこで大切なのは、学校の風土そのものが、いじめの認知件数を隠さない、恐れがないということではないでしょうか。なぜならば、いじめの認知件数増加を恐れる学校風土であれば、「学級でいじめがあつても、担任は声を上げられない」、「いじめと認知したくないために、単なるいたずらやじゃれ合い等と軽く捉える」等、教職員にいじめと認知したがるしない行為・行動が見え始めるからです。私たち教職員のいじめに対する理解、さらにはいじめに対する大切な役割は、第1号で述べたとおりです。

※次回は、「いじめが起きにくいなど、いじめの未然防止」等について、いろいろとつぶやきます。今回もこんなに文字ばかりの校長のつぶやきにお付き合いいただき、ありがとうございました。